

「大会応援伝道の恵みを受けて」

静岡池田伝道所 委員 若杉治伸

大会伝道地として開拓された静岡池田伝道所は、1963 年 7 月 8 日に伝道所が開設され、今年第 60 回の定期総会を迎えました。全国の教会のお支えをいただき感謝です。

当伝道所では、毎年大会伝道局と中会伝道局の応援を交互に依頼し、伝道礼拝と開設記念礼拝をかねて開催しています。昨年も 2022 年 7 月 10 日(日)、講師に近畿中会、住吉教会の黒田浩史先生をお迎えし礼拝説教と講演をお願いしました。



説教は、ヨハネによる福音書 4 章 1 節～19 節で「第二の人生・第三の人生」と題しての説教でした。「現代は男 82 歳、女 88 歳の人生と言われ、50 歳か 60 歳からが第二の人生と思われる。

第一の人生は、上へ、上へ向かって行き、子供、孫たちに恵まれ、物質的にも恵まれることが「祝福」と思われる。(旧約的祝福)

第二の人生は、幸せな信仰生活を過ぎて行く。その中で旧約的祝福(信仰)から新約的祝福(信仰)に転換して、第三の人生に入っていく準備の時である。第二の人生からは、下へ

下へ向かって行く長く辛いものになる。

第三の人生は、神のところで永遠に楽しい暮らし(天国のくらしー復活のくらし)です。

昔は寿命が 50 歳から 60 歳であったから、第一の人生、第二の人生のみであったが、イエス様による第三の人生は、復活の恵にあずかる人生です。」という力強く興味ある説教でした。

礼拝に引き続く講演は、「無牧の教会生活・信仰の蓄え」と題してお話いただきました。

「近畿中会の現況での無牧の教会が 30 教会中 6 教会、伝道所では 10 伝道所中 8 伝道所」と聞き、教職者の不足を思い知らされ、当伝道所も後任がなかなか与えられないことを実感いたしました。また「兼任、兼牧についてもお話しくださり、近畿中会の実態説明があり、私どもの身近な課題として参考になりました。無牧の中でこそ信仰を蓄える大切さを示されました。説教・講演共に身近な課題を提起して下さい感謝でした。



大会応援伝道を迎えるにあたって、全国の教会、伝道所に案内(ハガキ)を送付いたしま

したところ、励ましのご連絡をいただいた教会、個人もあり感謝すると共に大いに励まされました

また、近隣に新聞折込を 5000 枚配布しました。これは近隣住民に静岡池田伝道所の存在、礼拝時間(午後 3 時)のお知らせを兼ねたものです。出席者は 13 名(求道者 2 名)で、残念ながら新来会者はいませんでした。

静岡池田伝道所は細田眞先生、中島英行先生のご指導をいただいてまいりましたが、無牧となって 5 年余り経過しました。これは初めての経験ですが、県内の齋藤修牧師(磐田西教会)と石飛律子牧師(袋井愛野めぐみ教会)によって礼拝が守られ感謝しています。

静岡地区では三教会の合同修養会を毎年実施しています。第 55 回の修養会は、2022 年 4 月 29 日(日)に、村松恵美牧師(大宮東伝道所)をお招きし「高齢化社会に生きる教会」の講演をいただきました。出席者は 22 名でした。次回第 56 回は 2023 年 5 月 3 日(水)に予定しています。

このように三教会が励まし合い、主に仕えている静岡池田伝道所の祈りの課題は「牧師が派遣されますように」を掲げ、早期実現を願っています。

小さな群れですが、会員一同重荷を負って仕えていきます。皆様のますますのご加禱をお願いします。

「大会応援伝道を感謝して」

西経堂伝道所 前牧師 五十嵐喜和

西経堂伝道所は、2022 年 10 月 30 日(日)宗教改革記念日に、岐阜教会(現西宮中央教会)の三輪恵愛(みわ・しげよし)牧師を迎えて、大会の応援伝道を実施しました。何よりもまず、このようにして伝道所を応援して下さった大会伝道局、また、そのために推薦して下さった中会伝道局に感謝をいたします。応援を受けての伝道集会は、主日礼拝と講演会でしたが、このことを通して、改めて大会と中会の交わりと応援を覚え、感謝いたします。

今回の伝道は、主日礼拝と続く講演会として行われました。この集会を通して、信仰の養いを受け、教会の働きに目覚め、伝道所の今後を示唆を与えられました。しかし、コロナ禍の中、実施に際しては、大々的な集会案内は控えざるを得ず、普段の礼拝出席者数と変わらない出席者であったことは残念でした。しかし、内容は実に豊かでした。

講師の三輪恵愛牧師は、岐阜教会の牧師として働きつつ、関わりの深い養護施設「日本児童育成園」のためにも労しておられる中、十全な準備をして奉仕に臨んでくださいました。送

りだして下さった教会に感謝をいたします。児童虐待や育児放棄が伝えられる昨今、教会はどのようにその課題に関わるかを示されました。施設の子どもたちは教会の日曜学校に通って信仰者と触れ合い、施設の職員は教会の説教で養われ、相互に力づけられてその働きがなされていることを、目の当たりに示されました。



折角の大会応援伝道が一過性のものとならないように、先立って 5 月 25 日(日)には近隣

の世田谷千歳教会の小林宏和牧師を迎えて春の伝道礼拝をもち、また9月25日(日)には、中会伝道局の問安使、山川聡牧師(習志野教会)による秋の伝道礼拝を実施しました。この時には礼拝後、数年続けているチェロコンサートも持ちました。茅ヶ崎東教会の水越大二郎長老の御子息、水越孝太氏によるコンサートで、演奏者による曲目の解説方々、とても良い信仰の証しがなされました。

西経堂伝道所は、ここ数年、「今年のわたしたちの祈り」として、週報に「キリストの体である教会が建てられるために」を掲げ、エフェソの信徒への手紙1章23節の言葉を掲げています。この地に開拓伝道を始められた長谷川保男先生の志を受けてのことです。先生は、伝道開始後間もなく、日本キリスト教会への加入を決意されました。それは、一つ信仰告白のもとでこそ協力して伝道し教会は形成されるという長老制による教会の在り方でした。先生が病に倒られてのち、伝道所は中会の協力と援助を中心に全国の諸教会の祈りを得て、導かれてまいりました。幾人もの牧師・伝道者が遣わされ、また、その御言葉と聖礼典を中心に、幾人もの受洗・転入会者、それに求道者

が生まれ、2022年の現住陪餐者数は15名(敢えて男女別を記せば、男3名、女12名)、主日礼拝出席者数は12名(同上男4名、女8名)、祈祷会出席者数は月に一度ですが11名(同上男3名、女8名)です。また、年に一度になっていますが、交流誌「まじわり」を復刊し、信仰の交わりを覚えています。長谷川保男先生時代のものが復刊されたのです。



大会応援伝道をご活用ください

大会から講師の交通費等を補助いたしますので、遠方からの講師を招くなどして、どうぞご活用ください。所属中会の伝道局、伝道委員会の推薦は必要ありません。

- ・ 講師の選定、伝道計画等は、実施教会が立案し、大会伝道局が承認することになります。
- ・ 講師謝儀は、礼拝30,000円、講演会や集会は15,000円(教会の場合は当該教会負担)。
- ・ 必要な費用は、大会伝道局会計から実施の1ヵ月以上前に送付いたします。
- ・ 実施後に、報告書を大会伝道局に提出してください。

(詳細は、日本キリスト教会のホームページ「伝道局理事会」のページをご参照ください。)

- ・ 問い合わせ先：黒田浩史(伝道局書記、住吉教会牧師)

電話/FAX：078-851-4897 電子メール：frkuroda@yahoo.co.jp

会計報告、教会別献金総額

会計報告

(単位：円)

科目	2021年		2022年	
	(1月1日～12月31日)		(1月1日～12月31日)	
	予算	決算	予算	決算
(収入の部)				
大会伝道献金	0	55,480	5,459,000	5,365,000
個人団体献金	0	103,990	2,142,110	2,081,490
雑収入	500	507	1,000	386
運用資金より	4,139,500	4,139,500	4,237,890	8,613,012
伝道局基金より	7,700,000	7,700,000	0	0
合計	11,840,000	11,999,477	11,840,000	16,059,888
(支出の部)				
伝道地位補助金	7,290,000	7,290,000	7,340,000	7,290,000
大会応援伝道費	1,000,000	40,220	1,000,000	305,548
問安費	600,000	115,220	600,000	338,004
開拓伝道準備金	100,000	0	600,000	0
事務費	400,000	378,000	400,000	326,047
理事会費	900,000	168,000	900,000	383,800
予備費	110,000	0	0	414,085
沖縄会計へ	0	11,567	0	0
運用資金へ	0	3,996,470	0	7,002,404
繰越金/現在高	0	0	0	0
合計	10,400,000	11,999,477	10,840,000	16,059,888

53	袋井愛野めぐみ	17,600	91	池田	94,080
54	東京告白	26,400	92	豊中中央	72,520
55	仙台黒松	72,520	93	宝塚売布	38,720
56	宇都宮松原	45,800	94	西宮中央	237,600
57	磐田西	47,520	95	夙川	98,000
58	大和	62,720	96	住吉	39,040
59	上田	36,960	97	神戸布引	35,200
60	荻窪北	29,920	98	神戸湊西	25,200
61	府中中河原	36,800	99	明石大久保	36,960
62	上溝	8,340	100	新宮	100,500
63	大宮東	5,560	101	出雲今市	22,880
64	静岡池田	19,460	102	尾道西	35,200
65	恵泉	9,730	103	広島長束	45,760
66	東京中央	20,850	104	徳島	47,520
67	金目	6,950	105	観音寺	15,840
68	稲田堤	20,850	106	高知旭	31,680
69	西経堂	19,460	107	岡崎	8,560
70	古河	13,900	108	近江草津	9,730
71	郡山	12,510	109	奈良	6,950
72	福島	9,730	110	泉北	18,240
73	多摩ニュータウン永山	29,190	111	神戸桜が丘	12,510
74	志木北	23,000	112	加西	23,630
75	つくばひたち野	19,460	113	姫路	11,120
76	小山	9,730	114	岡山	22,240
77	名東	104,080	115	米子	12,510
78	岐阜	129,600	116	高松	15,290
79	大垣	87,000	117	下関	32,000
80	大垣荒尾	33,600	118	大分中央	64,500
81	亀山	17,600	119	小倉	21,000
82	福井宝永	24,640	120	志免	17,000
83	吉田	78,400	121	福岡城南	126,320
84	西都	92,120	122	福岡筑紫野	15,840
85	高槻	80,360	123	久留米	29,920
86	香里園	84,400	124	柳川	15,840
87	大阪北	64,680	125	佐賀めぐみ	26,400
88	大阪西	99,960	126	島原	14,080
86	香里園	84,400	127	折尾	5,560
87	大阪北	64,680	128	八女	0
88	大阪西	99,960	129	長崎	34,410
89	大阪姫松	168,000	130	熊本	0
90	北田辺	0	131	沖縄	15,290
			132	宜野湾告白	4,170
				総合計	7,446,490

2022年度教会別献金総額

(2022年1月1日～12月31日)

	教会名	金額		教会名	金額
1	函館相生	107,800	27	富良野	9,730
2	札幌北一条	408,240	28	北広島山手	25,020
3	小樽シオン	64,680	29	奈井江	9,730
4	旭川	94,080	30	稚内萩見	15,290
5	北見	45,240	31	美深	4,170
6	遠軽	35,200	32	大森	145,200
7	滝川	48,000	33	蒲田御園	90,160
8	聖園	22,360	34	鶴見	362,880
9	室蘭	44,800	35	横浜桐畑	129,600
10	伊達	38,702	36	横須賀	26,400
11	苫小牧	36,960	37	湘南	76,440
12	遠浅	40,480	38	秋田	42,240
13	札幌琴似	131,760	39	柏木	451,000
14	札幌桑園	94,080	40	栃木	70,560
15	札幌豊平	84,280	41	浦和	105,840
16	札幌発寒	64,680	42	房総君津	44,000
17	釧路	33,440	43	横浜海岸	339,120
18	札幌白石	31,680	44	茅ヶ崎東	96,040
19	森林公園	60,760	45	豊島北	51,040
20	佐呂間	17,600	46	鎌倉栄光	90,160
21	帯広	29,920	47	世田谷千歳	92,720
22	森	4,170	48	習志野	101,920
23	夕張	4,300	49	南浦和	78,400
24	美瑛	0	50	南柏	72,520
25	札幌手稲前田	6,950	51	東京主僕	57,000
26	北桜山	6,000	52	小平	92,920

今年度の大会応援伝道

志木北伝道所 6月18日(日)

講師 真田泉(東京主僕教会牧師)

袋井愛野めぐみ教会 6月25日(日)

講師 黒田浩史(住吉教会牧師)

下関教会 10月

講師 上山修平(横浜海岸教会牧師)